

◆東京国立博物館アンバサダー企画◆

企画・制作:山崎美貴 (東京国立博物館アンバサダー) 協力:東京国立博物館

夏の夜の怪談話

【朗読】

怪談 牡丹燈籠

原作：三遊亭圓朝

脚本：大西信行

脚本構成：山崎美貴

柳生啓介 (前進座)

永井秀樹 (青年団)

山崎美貴 (文学座)

一龍齋貞寿

【講談】

座頭の幽霊面

一龍齋貞寿

三味線 杵屋松紀三

2024年 7月11日(木)・12日(金)・13日(土)

開演:18時30分 (開場 18 時) 全席自由4,500円 (前売・当日共)

会場:東京国立博物館 応挙館 (東京都台東区上野公園13-9)

第一部 講 談「応挙の幽霊画」



●一龍斎貞寿



三味線
●杵屋松紀三

【応挙の幽霊画】

江戸時代中期に活躍した写実派の絵師・円山応挙。

「足のない幽霊」をはじめ描いた人物として、現在では幽霊画の大家としても知られています。

そんな応挙の若き日の物語を三味線の音色とともに楽しみください。

第二部 朗 読 牡丹燈籠

原 作：三遊亭圓朝 脚 本：大西信行 脚本構成：山崎美貴 音 響：山崎哲也



●柳生啓介
(前進座)



●永井秀樹
(青年団)



●山崎美貴
(文学座)

●一龍斎貞寿

【牡丹燈籠】

旗本飯島平左衛門の娘お露は浪人萩原新三郎に恋い焦がれた末に焦がれ死に、乳母のお米もその後を追った。それを伝え聞いた新三郎は念仏三昧の供養の日々を送っていた。折しも盆の十三日、お露とお米が幽霊となり、牡丹燈籠を提げて門口に立った…。闇夜に響く下駄の音。カラン…コロン…。ご存知、三遊亭圓朝の傑作落語を朗読劇でお届けします。

7 月 11 日(木) 18 時 30 分
12 日(金) 18 時 30 分
13 日(土) 18 時 30 分

チケット料金 4,500円 全席自由 お水ペットボトル付

★ご予約 ウェブ予約フォーム

<https://shibai-engine.net/prism/webform.php?d=eoz9fyug>

予約は6月3日(月)0時から。

当日受付精算は現金のみのお取り扱いとなります。

★お問合せ shouyou1965@gmail.com



会 場 東京国立博物館 応挙館

各公演の30分前から東京国立博物館の西門よりご入場いただけます。

【公共交通機関でお越しの方】

JR上野駅公園口、または鶯谷駅南口下車 徒歩10分

東京メトロ 銀座線・日比谷線上野駅、千代田線根津駅下車 徒歩15分

京成電鉄 京成上野駅下車 徒歩15分

台東区循環バス「東西めぐりん」で「上野駅入谷口」もしくは「JR上野駅公園口」

バス停から「上野公園経由・三崎坂往復ルート」のバスに乗り、「東京国立博物館前」バス停下車。

企画・制作 山崎美貴 (東京国立博物館アンバサダー)
協力 東京国立博物館

